

— 勤務医・開業医の皆さんへ —
兵庫県保険医協会・勤務医部会「病診連携研究会」ご案内

在宅や外来でポケットサイズのエコーを使う

日時 7月14日(土) 17時～19時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階/
JR・阪神元町駅南へ徒歩7分)

第1部：講演「在宅や外来でポケットサイズのエコーを使う」

東神戸病院 内科 水間 美宏（みずま よしひろ）先生
(Point-of-care 超音波研究会、日本超音波医学会指導医)

第2部：実技（ハンズオン）※事前申込順 25人限定・協会会員優先（当日入会も可）

協力 GEヘルスケア・ジャパン株式会社 《参加費無料》

在宅や外来では、問診、視触診、聴診を行ない、どうしても必要な時は精査可能な施設へ紹介するなどして診断を確定する。最近では聴診にひき続いて、ポケットサイズのエコーで診断し、精査の必要性も判断できるようになった。

Point-of-care 超音波(POCUS)とは、患者の傍らで医療者が行なうエコーのことであり、救急や集中治療での有用性が確立している。在宅や外来ではポケットサイズのエコーによる POCUS が有用で、高齢化社会を迎えて、その必要性はさらに増すことだろう。

スクリーニングのエコーでは、多くの臓器を隅々まで観察するが、POCUS では、症状に応じて、必要な部位で、必要な所見の有無を見ていくという手法をとる。

講義では、心臓、血管、肺、腹部、さらに頸部、皮膚、運動器など、症状に応じてどの部位にプローブをあて、どのような所見をチェックしていけばよいか解説したい。

実技（ハンズオン）では、ポケットサイズのエコーを実際に手にしてもらうことで、在宅や外来での POCUS の可能性を実感していただけるようにと願っている。 【水間 記】



お問い合わせは、兵庫県保険医協会・事務局（TEL/078-393-1840）まで

病診連携研究会(7/14) 参加申込FAX・078-393-1820

市区郡 _____ 病・医院 _____ 参加者 _____

実技受講を 希望する 希望しない ※いずれかに☑ 連絡先 Tel _____

兵庫県保険医協会

314号 2018年6月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

研究会 感想文

漢方薬で長寿を実現？



講師を務めた鹿児島大学大学院医歯学総合研究科漢方薬理学講座特任教授の乾明夫先生（左上）と医療法人向坂医院の向坂直哉先生（左下）

（右）当日は43人の参加となった

神戸支部は5月12日、生田神社会館で研究会を開催。「フレイル・サルコペニアは克服できるのか？～多施設共同臨床研究から見てきたもの～」について大阪市平野区・医療法人向坂医院の向坂直哉院長が、「漢方薬のフレイルに対する臨床成績と作用機序～最新の知見を交えて～」について鹿児島大学大学院医歯学総合研究科漢方薬理学講座特任教授の乾明夫先生が講演した。司会を務めた佐々木徹先生の感想を紹介する。

- リンダ・グラットン教授によれば、日本では
1. 筋力の低下 (Grip: ♂ < 26kg, ♀ < 18kg)
 2. 活動量の低下
 3. 歩行速度の低下
- フレイルとは臨床的障害に近い状態。以下の3項目以上で定義される。

（2面へ続く）

（1面からの続き）

- 4. 疲労感
- 5. 体重減少（年間4.5kg or <-5%）
要介護の人は2016年度590万人で、脳卒中18.5%、認知症15.8%、老衰13.4%、骨折転倒11.8%、関節疾患10.9%。

漢方的には、フレイルは気虚（疲労感）、血虚（サルコペニア）、腎虚（頻尿）となる。

このフレイルに対して、人参養榮湯はエンゼルスの大谷翔平、投打二刀流（気血双補）。人参養榮湯＝四君子湯（補気）＋四物湯－川芎（補血）＋桂枝＋遠志＋陳皮＋五味子。人参養榮湯は癌患者のQOL、腎性貧血、感染症に効

果。桂枝は血管拡張、遠志・白朮は海馬BDNF（脳由来神経栄養因子）を増加させ認知機能を改善、陳皮は神経の再ミエリン化、五味子は骨格筋代謝を改善し、骨粗しょう症・乳がん細胞を抑制、人参は視床下部に作用（抗老化）、黄耆はアディポネクチン・インスリン感受性を亢進する。

向坂先生は人参養榮湯に注目、大阪で多施設研究中。乾先生は美しいスライドで血液交差選流や腸内細菌叢移植での長寿を示された。相対性理論では光速の宇宙船乗員のtimeは止まり、clock gene（時計遺伝子）は寿命を永遠とする？

【垂水区 佐々木 徹】

健康と医療について語り合う会 「外反母趾と膝の痛み」

日常生活で無理をしないことが大切



（左）膝と足の痛みについて講演する井尻慎一郎先生
（右）いつでもどこでもできるストレッチを実践！

神戸支部は5月24日に、神戸市立総合福祉センターで健康と医療について語り合う会を開催した。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会（いのちを考える会）」の講師派遣の要請に応えているもの。垂水区・井尻整形外科の井尻慎一郎先生が「リハビリパート2 外反母趾と膝の痛みの関係」と題して講演し、市民、聴覚障害者の方を中心に29人が参加した。

井尻先生は膝と足の痛みについての具体的な

症状や予防法、運動療法について説明。膝の痛みでは、年齢とともに関節表面の軟骨がすり減り骨が変形して痛みが生じる変形性膝関節症について解説し、イスや寝ころんでできる簡単な体操を紹介。変形性膝関節症の進行を防ぐには日常生活で無理をしないことが大切であるとした。

足の痛みでは外反母趾について講演し、装具を使った対処法を紹介。講義では、先生が監修を務めた、家でできる簡単な体操のDVDも鑑賞し、参加者から好評を得た。

今年2回目の職員接遇研修会を開催

「表現力」の重要性を学ぶ



（左）接遇の基本についてを講演する松田幸子先生
（右）身体を動かして実践的に患者接遇の基本を学んだ

神戸支部は6月9日、協会会議室で職員接遇研修会「これだけは押さえない患者接遇の基本～クレーム対応も含めて～」を開催。マネジメントコンサルタントの松田幸子先生が講演し、会員・スタッフら77人が参加した。

松田先生は接遇において大切なことは「表現力」であるとし、「表現力」を形にするためには、あいさつ、笑顔、明るい声、アイコ

ンタクト等を重視し患者さんと接することが求められると説明した。参加者は、他の参加者と笑顔の練習を行うなど、実践もまじえながらわかりやすく解説した。

参加者からは、「表現力の大切さがとても勉強になった。今後の業務にいかしていきたい」と感想が寄せられた。

開業医手作り
日替わり健康情報

健康情報テレホンサービス
☎0120-979-451

【2018年6月のテーマ】

- 月曜日 失明につながる眼の病気
- 火曜日 歯に寿命はあるのか
- 水曜日 怖い頭痛、怖くない頭痛
- 木曜日 繰り返す女性の膀胱炎
- 金土日 爪に入った水虫

【2018年7月のテーマ】

- 月曜日 60歳を過ぎてからの女性器出血
- 火曜日 よく嘔むことと認知症予防
- 水曜日 女性に多い膠原病
- 木曜日 水泳と耳鼻科の病気
- 金土日 薬物乱用・薬物依存症